

平成30年度第1回高松市総合教育会議資料

平成30年7月31日

共生社会ホストタウン登録を契機とした ユニバーサルデザインのまちづくり の更なる推進



高松市 政策課 ユニバーサルデザイン推進室

平成25年度に基本指針を策定

○指針策定の趣旨

ユニバーサルデザイン社会の実現を目指し、
考え方や方向性を示すもの

○指針の位置付け

すべての施策の基礎

○目指すべき姿

誰もが住みやすく 訪れやすい 心温まるまち

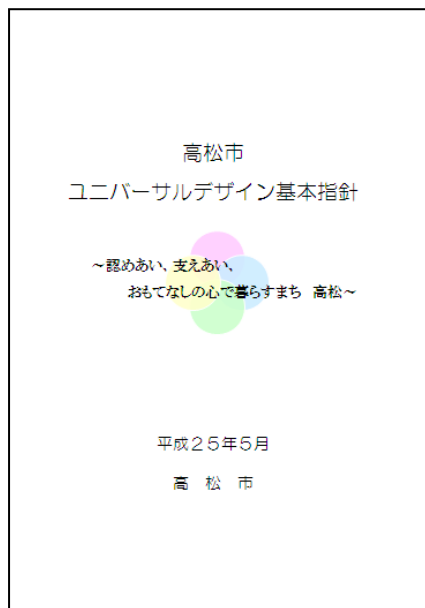
ユニバーサル
デザイン



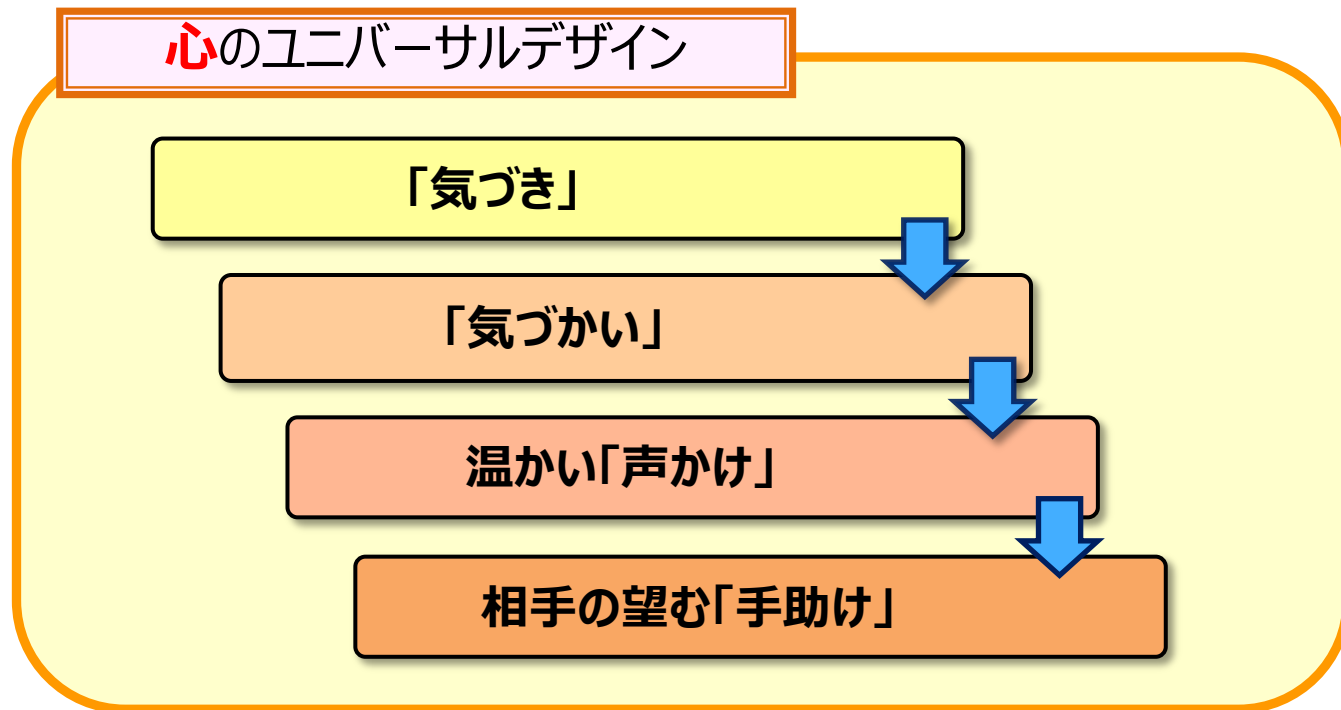
おもてなし
の心



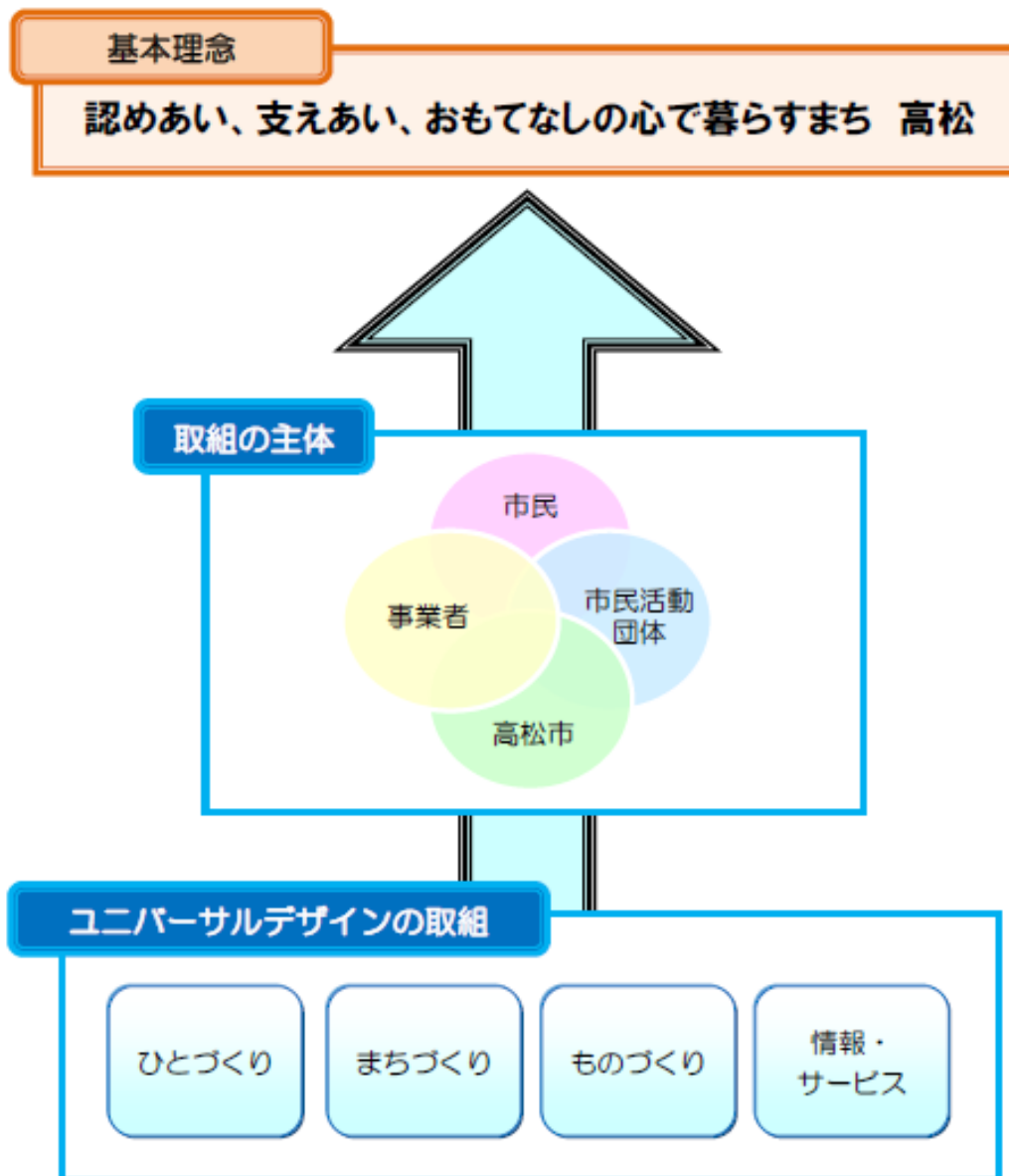
高松市の
ユニバーサル
デザイン



「心のユニバーサルデザイン」は ユニバーサルデザインを推進する原動力



高松市が進めるユニバーサルデザインの取組概念図



平成29年12月

「ホストタウン」「共生社会ホストタウン」として登録

H29.12登録 6都市
H30.5追加登録
7都市等

「共生社会ホストタウン」とは

パラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取組を推進するホストタウン。

具体的には

- ① 心のバリアフリー又はユニバーサルデザインの街づくりの取組の継続的・加速的な実施
- ② 東京大会の事後交流も含めた幅広い形での相手国・地域のパラリンピアンと市民との交流

「認めあい、支えあい、おもてなしの心で暮らすまち 高松」の実現を目指して

台湾のパラリンピック陸上競技選手との交流を通し、四国八十八箇所霊場のお遍路さんへのお接待に代表される「おもてなしの心」を取り入れた高松らしいユニバーサルデザインを推進。

ユニバーサルデザインの街づくり

○庁内推進体制

ユニバーサルデザイン推進室を設置するとともに全所属に推進員を配置し、すべての施策にユニバーサルデザインの考え方を反映

○陸上競技場を障がい者スポーツの聖地に

ユニバーサルデザインに対応した屋島競技場(屋島レクザムフィールド)において、バリアフリー化を進めるとともに、障がい者スポーツ大会の誘致を行う

※屋島競技場は、駐車場から室内競技場等、フィールドまで段差なく移動できる等、障がい者スポーツ関係者の評価が高い



心のバリアフリー

○市民ボランティア育成研修等の実施

日本パラ陸上競技選手権大会及び東京パラリンピック大会の事前合宿・事後交流に向け、研修等を実施し、市民ボランティアを育成

○情報発信

観光施設のバリアフリー情報等を発信するほか、公共施設等のバリアフリー情報等を掲載したユニバーサルデザインマップの作成に向け取り組む



○啓発事業の実施等

ユニバーサルデザイン展

ユニバーサルデザインアイデアコンテスト

申請書等のユニバーサルデザイン化を推進

ユニバーサル
デザイン



おもてなし
の心



高松市の
ユニバーサル
デザイン

中華台北パラリンピック委員会、パラリンピアンとの交流

事業概要

台湾から、中華台北パラリンピック委員会及びパラリンピアンを招へいし、ユニバーサルデザインの推進に向けて交流事業を実施

- ・小学生、地元パラアスリートとの交流
- ・観光施設等の視察(栗林公園、屋島、商店街等)
- ・文化体験(うどん打ち体験、和三盆作り)



目的

- ・パラリンピアンとの交流を通して、子どもたちにパラリンピックや障がい者に関心を持ってもらう。
- ・パラリンピアンから、観光施設等のバリアフリー化等について意見をいただき、ユニバーサルデザインの推進に活かす。

実施日・場所

日程:平成30年2月21日～24日 4日間

場所:屋島レクザムフィールドほか

参加者

中華台北パラリンピック委員会及びパラリンピアン 5名

小学生 約180名、地元パラアスリート等



パラリンピアンとの交流の様子

小学生、地元パラアスリートとの交流

ジャベリックスロー体験



競技用車椅子乗車体験



みんなで記念植樹



一緒に学校給食



レーサーと競争

観光地・商店街等視察

小学生による
屋島おもてなしガイドツアー



商店街視察



文化体験

和三盆作り体験



うどん打ち体験



高松市屋島競技場(屋島レクザムフィールド)

施設概要

項目	内容
公認	第二種
建設工事費	約67.5億円
面積	延床16,207㎡ 敷地53,500㎡
収容人数	6,000人

セールスポイント

項目	内容
室内競技場	棒高跳びの公認競技が可能
UDの視点	スロープ等を設置し、段差なく移動可能
	車いす専用の観覧スペース(20台)を設置及び視覚障がい者用のマーキング
	点字案内、点字ブロックを設置
	オストメイト用設備、ベビーシート・チェアを設置
	障がい者用投てき設備の設置



パラスポーツ大会の誘致

中国・四国パラ陸上競技大会

- ・四国初開催 約110名のパラアスリートが出場
- ・障がい者を中心とした参加型イベントの開催
- ・H29、H31、H32の3か年開催

日本パラ陸上競技選手権大会

30年9月1日、2日

- ・四国初開催 約250名のパラアスリートが出場予定
- ・地元小学校等とパラリンピアンとの交流事業
- ・心のバリアフリー関連のイベント開催
(盲導犬キャラバン、義足体験、小学生記者・カメラマン体験等)

事前合宿誘致

日本パラ陸上競技連盟事前合宿

- ・強化合宿
30年8月23日～31日 約40人
- ・育成強化合宿
31年2月 8日～11日 約10人



屋島レクザムフィールドを障がい者スポーツの聖地に！！

啓発事業

ユニバーサルデザイン展

平成30年6月3日 さぬきこどもの国

高齢者疑似体験の実施

ユニバーサルデザイングッズの展示など



ユニバーサルデザインアイデアコンテスト

募集期間：平成30年8月1日～9月14日

応募総数（29年度）：小・中学生の部165点

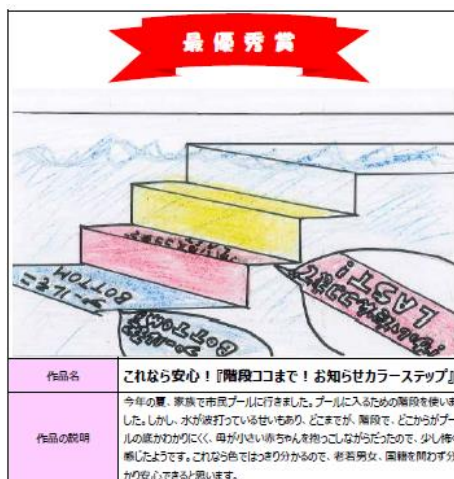
生活の中で、みんなが使いやすくなる、
分かりやすくなるアイデアを募集

小・中学生の部



パンフレット

各小学校に配布
(対象：小学3年生)



作品名	これなら安心！『階段ココマで！お知らせカラーステップ！』
作品の説明	今年の夏、家族で市民プールに行きました。プールに入るための階段を使いました。しかし、水が波打っているせいもあり、どこまで、どこからがプールの底かわかりにくく、母が小さい赤ちゃんを抱っこしながらだったので、少し怖く感じたようです。これなら色ではっきり分かるので、若者男女、国籍を問わず分かり安心できると思います。



高松市協働企画提案事業(UDたかまつプロジェクト)

話した言葉の文字表示や、多言語に翻訳するなどの機能を有する、ソフトウェアを搭載したタブレットを、福祉・教育等の分野で活用

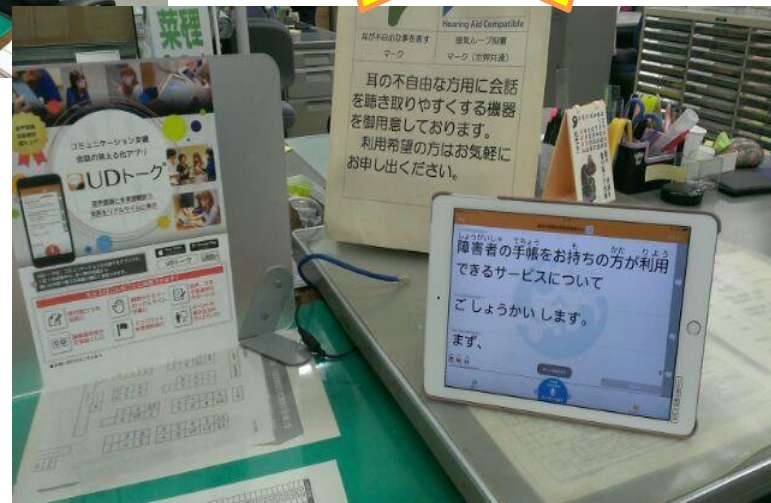
障がい福祉課の窓口等で活用



機能
音声認識
自動翻訳
読み上げ

特別支援学級の授業等で活用

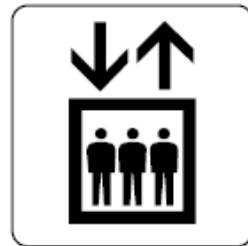
あすチャレ! Academy 研修等で活用



新たな取組

ユニバーサルデザインマップ

公共施設等のバリアフリー情報や
外国語表示の有無等を掲載したウェブサイト



スロープ
Accessible slope

ピクトグラムシール

ピクトグラムシールを作成し、店舗等に配布
シールの内容

バリアフリーの情報
多言語対応の情報



ユニバーサルデザイン啓発映像

啓発映像を作成し、小中学校で活用
掲載内容

基本指針等本市の取組内容
共生社会ホストタウン登録
身近なユニバーサルデザイン

ユニバーサル
デザイン



おもてなし
の心



高松市の
ユニバーサル
デザイン



小中学校との連携

- ・パンフレットの活用
- ・ユニバーサルデザインアイデアコンテスト応募への働きかけ
- ・日本パラ陸上競技選手権大会及び関連事業等への児童生徒の参画
- ・市政出前ふれあいトークの実施
本市の取組や身近なユニバーサルデザインについて紹介
- ・ユニバーサルデザイン啓発映像の活用
啓発映像制作に当たっての連携
制作後、授業等での活用



子どもの頃から、心のユニバーサルデザインを学び
ユニバーサルデザインのまちを実現